

## 教材と子どもの研究が加速するとき



岡崎 太郎（宮城支部・宮城教育大学附属中学校）

### 1 教材と子どもの研究が加速するとき

私の実践において教材と子どもの研究が加速するタイミングは、大まかに二度あります。2年前のバスケット実践を例に説明します。

#### 【計画の段階】

そもそも、バスケット実践から遡ること数年前の苦い思い出がありました。受験期に差し掛かった中3のバスケットの授業中、救急車を呼ぶほどの大きな怪我が起こり、教科主任である私に非難の声が集中しました。「今後バスケットは禁止」的な厳しい指導を受けた記憶があります。それから何年か経ち、中1を担当することが決まり、3年間のカリキュラムづくりに取り組む中で、どうしてもバスケットの授業を組み込みたいと考えました。クリアしなければならない、数年前に指導を受けた内容は以下の3点です。

- ボールが硬くて重いため指の怪我の可能性が極めて高いこと
- 攻守入り乱れ、運動技能の低い本校の生徒には危険だということ
- 受験に対し家族の期待を一身に背負い、自分の将来をかけて臨んでおり、バスケットどころではないということ

3つ目については、受験科目と同等の学びの意味や価値を子どもたちに見出させ

る必要があるということで解釈しました。

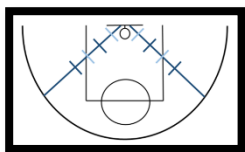
上記の3点を事前にクリアできる見通しが無ければ、授業は行えないと考えていました。ここが教材研究に苦心した【計画の段階】です。

- バスケットの特性と学習内容（つまりは、バスケットとはどんなスポーツで、何を効果的に学ばせられるスポーツなのか）の理解・解釈
- バスケットという素材の学習内容を安全かつ効果的に学ばせられるものに作り替える（教材化する）こと

この2つを考えるのには本当に悩みました。支部のバスケットプロジェクトでもあらゆる考えが飛び交いますし、うちの子どもたちにとってどんな教材がヒットするかは誰にも分かりません。とにかく、局面ごとにできる限りの自分なりの何らかの一手を打っていくほかないと考えていました。参考にしたのは、星野実先生の実技講座、漆山晶博先生・制野俊弘先生・山口正富先生のバスケット実践記録、石田先生のブログの様々な記事、たのスポの実践記録（バスケットに限らず、様々なボールゲームのもの）、水谷豊さんの著書「バスケットボール物語」等々です。色んなものを読みながら、バスケットの授業で子どもたちのプレーを見て、悩んで、作文読ん

で、ひらめいて、試して、落ち込んで、また何か読んで、考えて…という、何とも手探りな日々を過ごしていました。

「重要空間を表す骨ゾーン(図)」  
「2:1, ハーフ



コート, 攻守切り替えなし, インニング制のゲーム」ができました。技能のねらいは骨ゾーンからのノーマークシュートの方法がわかりできることでした。

### 【子ども・学級・教師集団にとって 不都合なことが噴出する段階】

最後のゲーム後のミーティング(14時間目)で、それまで特に気にかけていたAとB子のペアを含む班がもめました。AがB子めがけて「乱暴なパス」をしたというのです。そのパスが遠くに転がって行って、持ち時間をかなりロスしてしまつたと。他のメンバーも「はいはい、Aの自己中が始まった」という雰囲気で見守っています。Aは意外にもどんどん差し込まれ、最後はうなずいているだけの状態になりました。授業後のAに、「ちゃんと語り合う時間をとろうな」と言い、落ち着かせてから教室に戻しました。

AもB子もリーグ戦に入るころにはパスの受け渡しが上手くなり、二人とも骨ゾーンからノーマークでシュートを決めることができていました。毎回書かせていた振り返りの作文、それを班ごとにまとめたグループノート、そこへの私からの書き込みを頼りに、よく教え合いながら上手くなってきていました。ただ最後

のゲームだけ、上手くいきませんでした。

この局面で、バスケットという教材だけでなく、AやB子の性格・関係性・両者の課題、当時のクラスの雰囲気、クラスの仲間とA・B子の関係性なども総合的に捉えなければと考えていました。隣のクラスの美術教師と最後のゲームの映像を何度か観ていると、もめる原因になったプレーを発見しました。最後の振り返りの時間を翌日に控え、作戦をいくつか考えました。

- AとB子のできごとには触れず、これまでの学習の道のりを振り返りながら、最後の作文を書かせる。
- AとB子のできごとには直接的には触れず、学んできた成果がわかりやすいプレーの動画を紹介し、最後の作文を書かせる。

美術教師との作戦会議は深夜まで及びました。この時語り合ったこと自体、とてもこだわった過程なのかもしれません。

結局、「このペアにもちゃんと学んできた歴史があり、クラス全員がその事実を受け取り、2人に返すことはできないだろうか」と考え、上記以外のだいたい思い切った作戦で行こうと決心しました。詳細は当日お話しします。

## 2 今回お話ししたいこと

バレー・性の多様性の授業・ソフトボール・リレー・体育理論等でも同様のエピソードがありました。たくさんの資料とともにご紹介したいと思います。